

気象台一口メモ「西高東低」

冬になると「西高東低の冬型の気圧配置」という言葉をよく聞きます。これは日本列島の西側に高気圧、東側に低気圧がある気圧配置のことです。この気圧配置になると大陸の高気圧から冷たい北西の季節風が吹きます。

冬に「西高東低の冬型の気圧配置」となりやすいのは、大陸の空気が冷えて重くなり高気圧が形成される一方、発達した低気圧がオホーツク海へ進むためです。日本付近の等圧線の間隔が狭い(気圧の傾きが急な)ほど季節風が強く、上空の寒気も南下してきます。

大陸から冷たい季節風が日本海を渡るとき、暖かい日本海上で雪雲が発生し、北海道や本州の日本海側に雪を降らせます。「西高東低の冬型の気圧配置」は何日も続くことが多く、上空の寒気が強いと大雪になります。

大雪警報は12時間の降雪の深さが50センチ、大雪注意報は12時間の降雪の深さが30センチになると予想される場合に発します。大雪警報や大雪注意報が発表された場合は大雪による交通障害などに警戒注意してください。



◎問い合わせ先

旭川地方気象台総務課 ☎0166-32-7101

旭川地方気象台ホームページアドレス

<http://www.jma-net.go.jp/asahikawa/>

北方四島への入域の自粛について(お願い)

ご承知のように、北方四島への入域については、平成元年9月19日の閣議了解により、国民に、北方領土問題の解決までの間入域を行わないよう要請し、また、本年9月13日には、閣議了解に基づき、私どもから道民の皆さんへ同趣旨のお願いをしたところですが、この度、新たに水産加工会社社員など2名が、ロシアの査証(ビザ)を取得して、北方領土を訪問していた事実が明らかになりました。

現在、北方四島への入域については、日露両国政府により設定された、元島民及び返還運動関係者等を主体とする、いわゆるビザなし交流や北方墓参、自由訪問及び緊急人道支援の特別の枠組みによるものに限定されており、それ以外のロシア当局の査証の発給を受けての入域等は、北方四島がロシアの領土であることを認めることに繋がる可能性があり、そのことは日本政府の政策と、返還を求める国民、道民の願いと相容れないものです。

以上のような状況にご理解をいただき、道民の皆さんには、ビザなし交流など4つの特別の枠組みによるもの以外による、北方四島への入域は自粛されるようお願いいたします。

北海道総務部北方領土対策本部
社団法人 北方領土復帰期成同盟
社団法人 千島歯舞諸島居住者連盟

12月10日から16日までは 「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です

日本人拉致事件をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに国際社会と連携しつつ北朝鮮による人権侵害問題の実態を解明し、その抑止を図ることを目的として、毎年12月10日から16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」とすることとされました。

暮らしぶりの映し～北の光が続く道～

▶ルート内イベント 情報

【留萌市】
12月5日(日)
うまいよ! るもい市

【苫前町】
12月5日(日)
苫前町民劇
「冒険者たち」

今年のトピックス

ルート内のヘルスツーリズム推進に向けて

ヘルスツーリズムとは、医学的な根拠に基づく健康回復や維持、増進につながる観光のことで、近年注目を集めている観光です。

萌える天北オロロンルートでは、以前このルート内で行われてきた「日本海オロロンライトライアスロン大会」のコースを利用し、去る10月16日(土)・17日(日)の2日間、増毛町から稚内市までの区間、体験視察を行いました。ヘルスツーリズムとしての利用の可能性を含め、参加者からの様々なご意見は、今後の企画の参考にさせていただきます。

☎ 萌える天北オロロンルート 運営代表者会議事務局(増毛土建株式会社内)

☎ 53-1140 ☎ 53-1141 ✉ y.sango@mashikedoken.co.jp

留萌管内の情報が満載! るもいfan.net 🌐 <http://rumoifan.net/>